

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	毎年3月31日
公告方法	日本経済新聞
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

お問合せ先

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用下さい。	単元未満株式の買取以外の株式売買は出来ません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡下さい。

決算情報のご案内

決算情報は、当社のホームページに掲載しております。

<http://www.sysken.co.jp/>



本 社

〒862-0976 熊本市九品寺三丁目15番7号
電話 096-372-1111(代表) FAX 096-373-0127

第57期 SYSKEN'S Report

平成21年4月1日→平成22年3月31日



SYSKEN 企業理念

品質方針
「お客様の
満足を得る」
設備、サービスを
提供する

社 是
我社は
最大の誠意を以て
最良の技術を
提供せむことを欲す

経営方針
一、志気の高揚
一、品質の向上
一、事故の撲滅
一、原価の低減
一、法令の遵守

SYSKEN 経営ビジョン

ユビキタス社会の進展に向け、信頼の技術と品質を提供する
総合エンジニアリング企業を目指す

シスケンは「SYSKENブランド(Q.C.D.M.S)」の向上に努めます。

Q (クオリティ・品質)

最新の技術力を素早く確保し、どこにも負けない優良でお客様が満足する製品を提供する

C (コスト・原価)

徹底した効率化で裏づけされたコストにより収益の最大化を図る

D (デリバリー・納期)

納期を遵守することでお客様に迷惑をかけないサービスを提供する

M (モラル・倫理)

社員教育により法令を遵守する

S (セーフティ・安全)

人身事故・設備事故・交通事故の撲滅を図る

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り有難く厚くお礼申し上げます。

このたび、平成22年6月24日開催の定時株主総会ならびに取締役会におきまして代表取締役社長に柏尾敬秀が就任いたしました。

さて、当社第57期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに営業の概況及び決算につきましてご報告申し上げます。

今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月



代表取締役社長
柏尾 敬秀

営業の概況

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

◆当社グループの営業の経過及びその成果

当連結会計年度におけるわが国の経済は、景気は一部持ち直してきているものの、依然として企業収益の減少、設備投資の抑制、雇用情勢の悪化及び個人消費も停滞を続けるなど先行き不透明な状況となっております。

一方、情報通信分野におきましては、本格的なコビキタス社会の実現に向けて情報通信ネットワークのブロードバンド化・IP化がますます進展するなど急速な変化が続いており、当社グループの主な取引先でありますNTTグループにおいては、NGN（次世代ネットワーク）や光アクセス通信網、高速無線通信技術（Super3G）などのフルIPネットワーク基盤を活用したブロードバンド・ユビキタスサービスの本格展開、さらには地域イントラネットの整備に関する取り組みが活発化しております。

このような状況の中、当社は従来からの電話系サービスの充実はもちろんのこと、ブロードバンド市場における光サービスの拡大に伴う工事体制の拡充、移動体ビジネスへの拡大、IP系ネットワークサービスなどトータルソリューション体制の構築に取り組むとともに、安全品質の向上、施工能力の強化及び各種業務の効率化を図ってまいりましたが、経営環境が厳しく、当連結会計年度の受注高は266億6千4百万円（前期比100.5%）、売上高は267億1千9百万円（前期比97.0%）となりました。

また、売上高の減少等により、経常利益は6億7千6百万円（前期比64.2%）、当期純利益は3億5千2百万円（前期比69.3%）となりました。

◆当社グループの中長期的な経営戦略と対処すべき課題

当社グループは、現在の事業環境及び最新の情報に基づき最善の経営方針を立案するよう努めておりますが、当社グループのコア事業であります情報通信分野におきましては、お客様のニーズもますます高度化、多様化していますので、従来にも増したきめ細かで高品質なサービスでお応えすべく、現場、現物、現実の三つの現を重視した「三現主義」により、今後とも信頼される技術と品質を提供する総合エンジニアリング企業を目指す所存でございます。

また、当社グループの中期計画である「SYSKENブランド向上」と「全事業部門利益率の向上」の2つを経営戦略の柱とし、以下の重点方針のもと、収益構造の転換と財務体質の強化を図ってまいります。

1. 利益率を重視した受注の確保
2. 効率化促進によるコストの低減
3. NGN時代に適応した組織、業務の再構築
4. 人材育成によるマンパワーと現場力の向上
5. CSR活動の全社員への普及

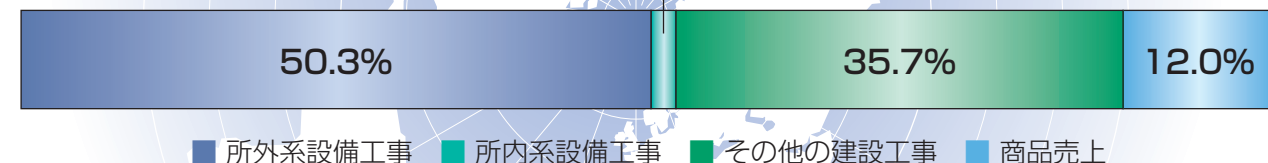
当期の受注高等

■当社グループの当期の受注高・売上高・繰越高

(単位：百万円)

区 分	前期繰越高	当期受注高	当期売上高	次期繰越高
所外系設備工事	6,323	12,844	13,433	5,734
所内系設備工事	173	530	535	169
その他の建設工事	2,239	10,078	9,547	2,771
商品売上	5	3,210	3,203	12
合 計	8,742	26,664	26,719	8,687

売上高構成比



■当社の当期の受注高・完成工事高・繰越高

(単位：百万円)

区 分	前期繰越高	当期受注高	当期完成工事高	次期繰越高
所外系設備工事	6,323	12,844	13,433	5,734
所内系設備工事	173	530	535	169
その他の建設工事	2,186	9,237	8,797	2,627
商品売上	—	749	749	—
合 計	8,684	23,362	23,516	8,531

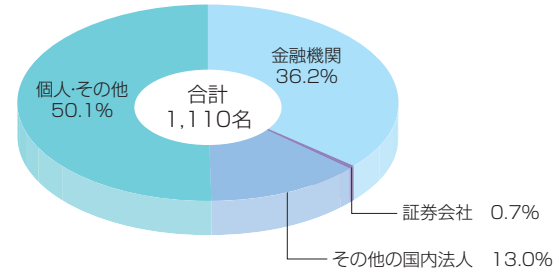
株式の状況 (平成22年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 48,400,000株
- 発行済株式の総数 13,100,000株
- 当事業年度末の株主数 1,110名
- 大株主

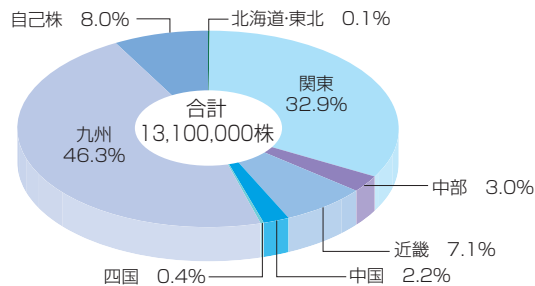
株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	出資比率 (%)
第一生命保険相互会社	1,001,000	8.30
西日本システム建設従業員持株会	999,178	8.28
日本生命保険相互会社	905,150	7.50
株式会社肥後銀行	598,945	4.96
みずほ信託銀行株式会社	435,000	3.60
住友生命保険相互会社	403,000	3.34
西部電気工業株式会社	281,602	2.33
株式会社コミュニチュア	260,000	2.15
株式会社りそな銀行	259,000	2.14
石兼雅之	221,000	1.83

(注) 出資比率は自己株式(1,044,485株)を控除して計算しております。

◆所有者別株主数分布状況



◆地域別株式数分布状況

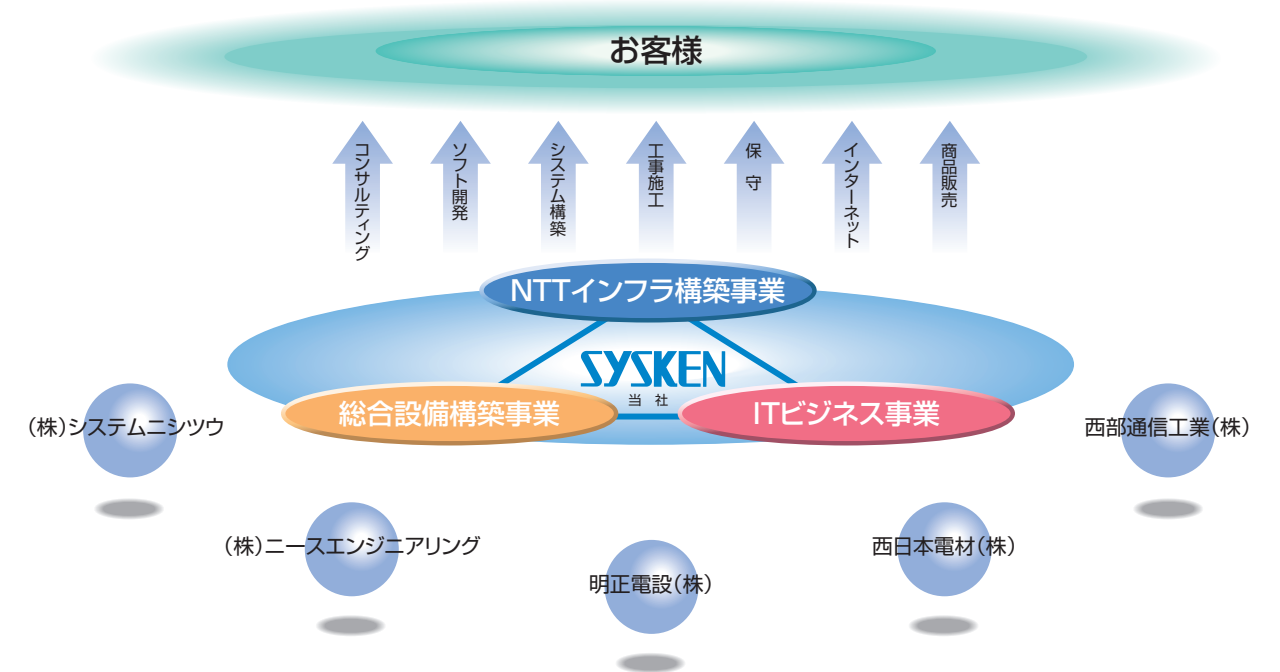


企業結合の状況

◆連結子会社の状況

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
西日本電材株式会社	40百万円	100%	電気通信材料・工具の販売並びに通信機器リース
株式会社システムニシツウ	40百万円	100%	各種OA機器・システム開発及び販売
明正電設株式会社	25百万円	100%	電気通信工事の施工

◆シスケングループの概況



連結財務諸表（要旨）

◆連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	期別		科目	期別	
	当期 (平成22年3月31日現在)	前期 (平成21年3月31日現在)		当期 (平成22年3月31日現在)	前期 (平成21年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	10,812	9,969	流動負債	7,659	7,029
固定資産	7,356	7,515	固定負債	2,303	2,434
有形固定資産	3,104	3,197	負債合計	9,962	9,463
無形固定資産	201	248	(純資産の部)		
投資その他の資産	4,049	4,068	株主資本	8,117	7,922
			資本金	801	801
			資本剰余金	560	560
			利益剰余金	7,016	6,785
			自己株式	△259	△224
			評価・換算差額等	89	98
			その他有価証券評価差額金	89	98
資産合計	18,169	17,484	純資産合計	8,207	8,020
			負債純資産合計	18,169	17,484

◆連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	期別	
	当期 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)	前期 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)
売上高	26,719	27,559
売上原価	24,283	24,612
売上総利益	2,436	2,946
販売費及び一般管理費	1,971	2,116
営業利益	464	830
営業外収益	236	260
営業外費用	24	37
経常利益	676	1,054
特別損失	35	78
税金等調整前当期純利益	640	975
法人税、住民税及び事業税	269	328
法人税等調整額	18	137
当期純利益	352	508

◆連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目	期別	
	当期 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)	前期 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△109	549
投資活動によるキャッシュ・フロー	△147	△258
財務活動によるキャッシュ・フロー	220	△265
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△0
現金及び現金同等物の増減額	△28	24
現金及び現金同等物の期首残高	1,062	1,038
現金及び現金同等物の期末残高	1,033	1,062

◆連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（自平成21年4月1日 至平成22年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				株主資本合計	評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成21年3月31日残高	801	560	6,785	△224	7,922	98	98	8,020
連結会計年度中の変動額			△121		△121			△121
剰余金の配当			△121		△121			△121
当期純利益			352		352			352
自己株式の取得				△35	△35			△35
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額）						△9	△9	△9
合計	—	—	231	△35	195	△9	△9	186
平成22年3月31日残高	801	560	7,016	△259	8,117	89	89	8,207

個別財務諸表（要旨）

◆貸借対照表

（単位：百万円）

科目	期別	当期 (平成22年3月31日現在)	前期 (平成21年3月31日現在)	科目	期別	当期 (平成22年3月31日現在)	前期 (平成21年3月31日現在)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産		8,994	8,306	流動負債		6,684	6,187
固定資産		6,077	6,252	固定負債		2,021	2,145
有形固定資産		2,819	2,882	負債合計		8,706	8,332
無形固定資産		204	256	(純資産の部)			
投資その他の資産		3,052	3,113	株主資本		6,285	6,129
				資本金		801	801
				資本剰余金		560	560
				利益剰余金		5,182	4,992
				自己株式		△258	△223
				評価・換算差額等		80	95
				その他有価証券評価差額金		80	95
資産合計		15,071	14,558	純資産合計		6,365	6,225
				負債純資産合計		15,071	14,558

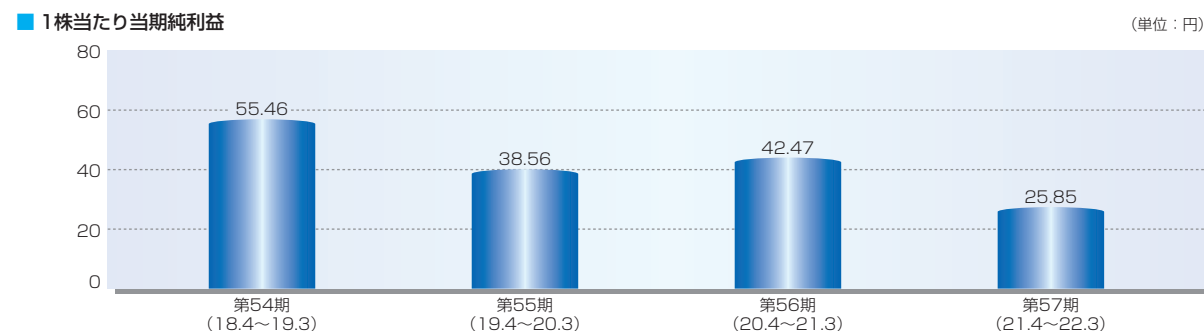
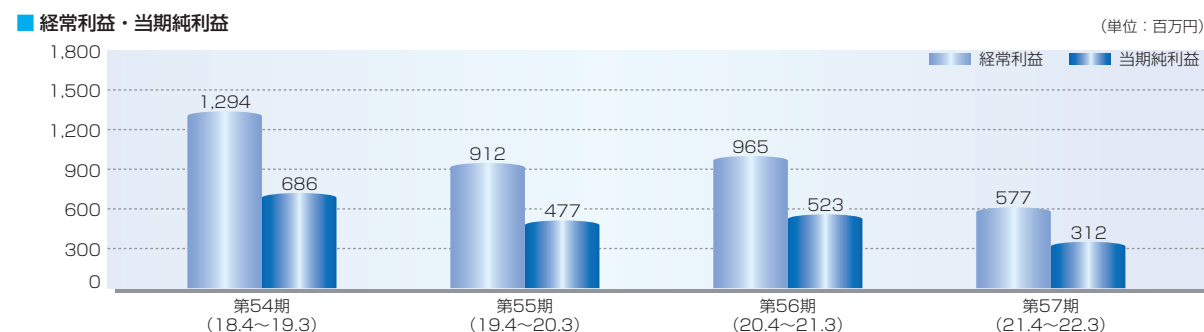
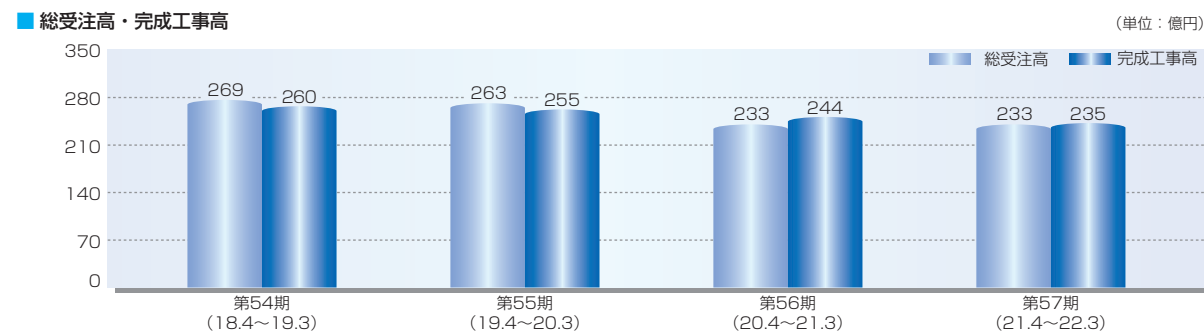
◆損益計算書

（単位：百万円）

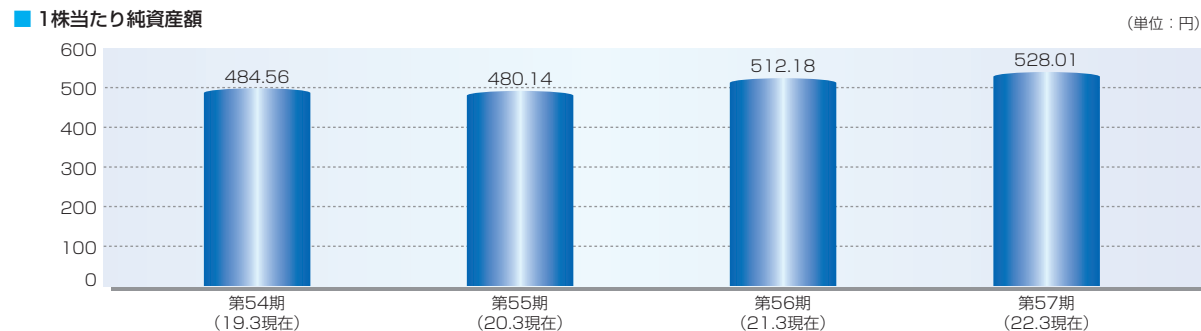
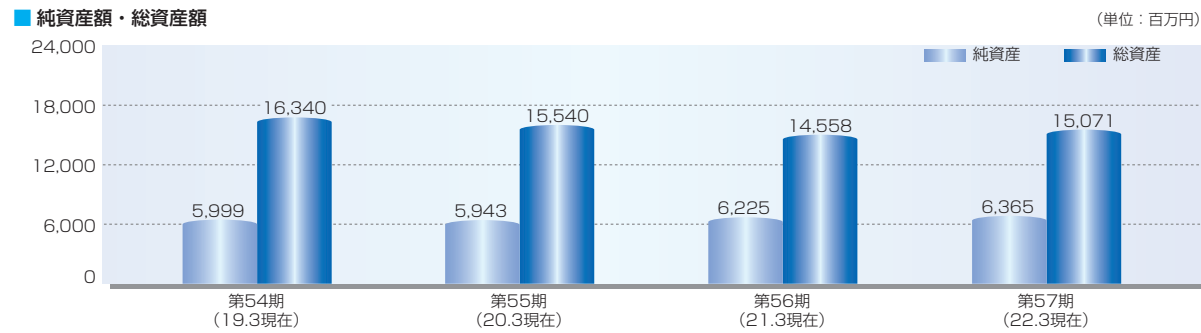
科目	期別	当期 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)	前期 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)
完成工事高		23,516	24,425
完成工事原価		21,595	22,012
完成工事総利益		1,921	2,412
販売費及び一般管理費		1,528	1,628
営業利益		392	784
営業外収益		203	212
営業外費用		19	30
経常利益		577	965
特別損失		30	65
税引前当期純利益		547	900
法人税、住民税及び事業税		230	299
法人税等調整額		4	77
当期純利益		312	523

財務ハイライト（個別）

◆業績の推移



財務ハイライト（個別）



◆ 株主資本等変動計算書

当事業年度（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本								評価・換算差額等		純資産合計		
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金		評価・換算差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金合計		固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金						利益剰余金合計
平成21年3月31日残高	801	560	560	200	24	4,000	767	4,992	△223	6,129	95	95	6,225
連結会計年度中の変動額													
固定資産圧縮積立金の取崩					△0		0	—		—			—
別途積立金の積立						400	△400	—		—			—
剰余金の配当							△121	△121		△121			△121
当期純利益							312	312		312			312
自己株式の取得									△35	△35			△35
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）											△15	△15	△15
合計	—	—	—	—	△0	400	△209	190	△35	155	△15	△15	139
平成22年3月31日残高	801	560	560	200	24	4,400	557	5,182	△258	6,285	80	80	6,365

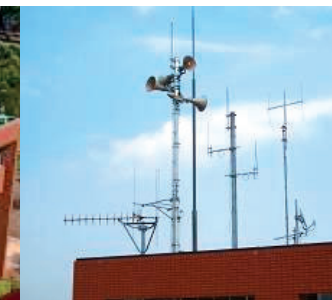
トピックス



平成22年度には、22名の若者がシステクに入社しました。



環境問題や、地域の防災対策に呼応し、太陽光発電設備工事や、防災無線工事を施工しました。



技術力の向上を目指して、第3回システクグループ技能競技会を開催しました。



社）情報通信エンジニアリング協会主催の、「光通信工事技能競技会」に弊社代表3名が参加し、NGNワンストップサービス開通競技で準優勝しました。



社会貢献活動の一環として、環境クリーン作戦や、通学路の樹木伐採にボランティアとして参加しました。



エコ活動の一環として、環境にやさしい電動バケット車を導入しました。

会社の概要 (平成22年3月31日現在)

設立年月日 昭和29年9月10日
発行可能株式総数 48,400,000株
発行済株式の総数 13,100,000株
資本金 801,000,000円
事業内容 ●電気通信設備・設計・施工・保守・コンサルタント
 ●情報通信 (PBX、OA) 工事、メンテナンス
 ●ネットワークソリューション事業
 ●グループウェア、各種システム開発
 ●LAN、WANイントラネット構築
 ●各種通信機器、OA機器販売
 ●インターネットプロバイダー
 ●OCN代理店、NTTdocomo代理店
上場証券取引所 大阪証券取引所市場第二部
 福岡証券取引所
本店 〒862-0976
 熊本市九品寺三丁目15番7号
 電話 (096) 372-1111 (代表)
支社 福岡、熊本、鹿児島、東京
支店 北九州、長崎、佐賀、大分、宮崎、関西
従業員数 599名
URL <http://www.sysken.co.jp/>

役員 (平成22年6月24日現在)

代表取締役社長 柏尾敬秀
専務取締役 柴野泰
常務取締役 板井次男
取締役 緒方博
取締役 高嶋良光
取締役 片淵康文
取締役 亀澤知昭
取締役 齊藤琢
取締役 東伸之
取締役 赤星敦
常勤監査役 香山郁夫
常勤監査役 松本和孝
監査役 福田 稠

主要な事業所

本社本館 本社別館 福岡支社 熊本支社 鹿児島支社 東京支社 北九州営業支店 長崎営業支店 佐賀営業支店 大分営業支店 宮崎営業支店	熊本市九品寺3-15-7 熊本市九品寺2-6-57 福岡市早良区次郎丸6-11-46 合志市幾久富建山1909-39 鹿児島市谷山港1-4-7 東京都中央区銀座1-14-9 銀座スワロービル6F 北九州市小倉北区東篠崎1-5-1 NTT小倉南ビル3F 西彼杵郡長与町高田郷岡崎3464 佐賀市日の出1-15-11 大分市田室町8-35 宮崎市日の出町35	関西支店 福岡アクセスセンタ 長崎アクセスセンタ 伊万里アクセスセンタ 熊本アクセスセンタ 別府アクセスセンタ 中津アクセスセンタ 延岡アクセスセンタ 鹿児島アクセスセンタ 鹿屋アクセスセンタ	大阪市中央区石町1-1-1 天満橋千代田ビル2号館7F 福岡市早良区次郎丸6-11-46 西彼杵郡長与町高田郷大平1769-8 伊万里市立花町2361-2 合志市幾久富建山1909-39 別府市馬場3組-3 中津市上如水字沖の坪1781 延岡市土々呂町6-1674 鹿児島市谷山港1-4-7 鹿屋市高須町3232-1
--	---	---	---

